

令和3年第2回市議会定例会 総務くらし建設委員会 所管事務調査説明資料

調査事項：カ 長久手市のICT化への取り組み状況について

	事業名	事業概要	進捗状況	R2年度 委託等金額
1	議事録作成システム	会議音声を録音するための音響機材を用いて、録音した音声を文字起こしするクラウドサービスを使用し、議事録作成ができるシステム環境を整備。	令和2年9月導入。 令和3年4月末の時点で、音響機材に関しては4課、文字起こしサービスに関しては10課が使用。 会議の使用時間数は、203時間33分。	1,302,400円
2	AI-OCR	手書きの申請書等をAI-OCRによりテキストデータに変換できる環境を整備。	令和2年11月に、県内他市町との共同利用型で導入。 各課で利用可能な業務があるか照会済み。回答があった課と調整しながら、試行から取り組んでいく予定。	256,740円
3	AIチャットボット	長久手市ホームページに、「AIチャットボット」(総合案内サービス)を設置。24時間365日チャット形式で市の行政サービス等について問い合わせが可能。	令和2年11月に、県内他市町との共同利用型で導入。 ホームページ内で、チャットボット形式のQA(総合案内)ツールとして運用している。 令和3年5月末時点で、3,325件回答。	498,874円
4	Web会議システム	Web会議が可能となる環境を整備。	令和2年5月に、Zoom2ライセンスを情報課で調達。 令和2年度は、Web会議を194回開催。	74,800円
5	ペーパーレス会議	会議資料を紙ではなく端末画面に表示し印刷コストの削減と業務効率化を図る。	令和2年度は68の会議をペーパーレスで実施し、用紙25,734枚、資料代12,661円、人件費589,424円相当を削減。	421,707円
6	リモートワーク(在宅勤務)	在宅による勤務の際に、自宅端末から市役所の自席端末にリモート接続(LGWAN回線使用)、業務が行える環境を整備。	令和3年2月に、地方公共団体情報システム機構(J-LIS)が実施している「自治体テレワーク推進実証実験事業」に参加申込み(100アカウント)。使用希望者を募集し、5月末時点でサーバソフトを54台にインストール済み。	(無料)
7	テレワーク	地域共生ステーション等で、LGWAN端末が使用できる環境を整備。	令和3年4月から、モバイルルータを5台調達し運用開始。 内4台は、地域共生推進課の主幹及び課長補佐が使用中。	—
8	情報職職員採用	将来のデジタルDX等に向けて、情報職の職員募集をし、職員を採用する。	6月4日まで、2度目の募集を実施し、2名応募あり。 今後試験を実施し、10月1日付けで1名採用予定。	—